

令和7年度青少年のネット利用実態調査結果(概要)

1 調査の概要

調査対象：県内の小学校(2年生、5年生)、中学校(2年生)、高等学校(1年生)の児童生徒約1,500人とその保護者、計約3,000人

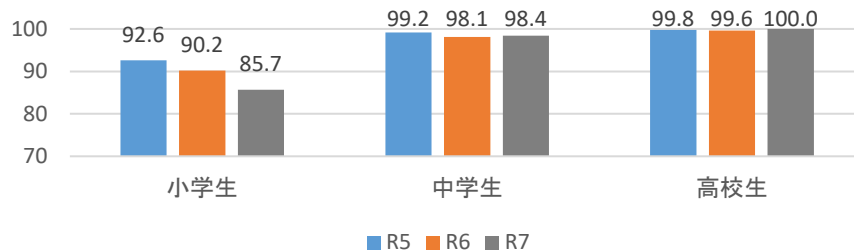
調査方法：対象者に合わせて、質問項目や内容、表現を調整して調査票を作成し、Webによる調査を行った。

調査時期：令和7年7月

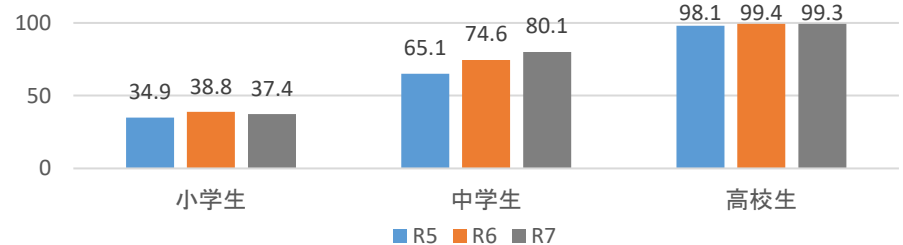
調査内容：①インターネットを利用する機器、内容、環境 ②インターネット利用による生活の変化 ③インターネット利用時のトラブル等と相談
④フィルタリングの利用状況と家庭のルール ⑤保護者自身のインターネット利用に関すること

2 インターネット利用の全年齢化・長時間化

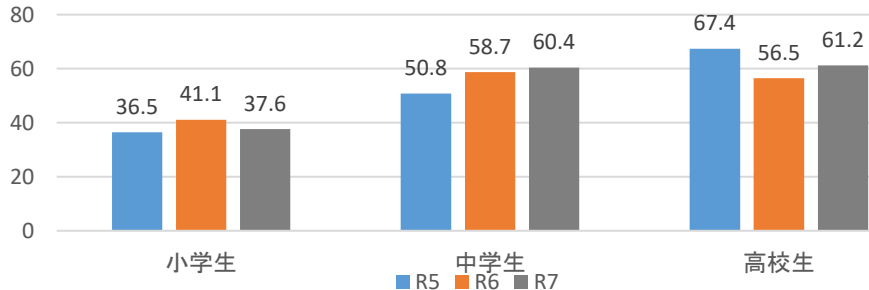
【青少年のインターネット利用率(子ども回答)】



【スマートフォン(自分専用)の所持率(子ども回答)】



【平日の利用時間が2時間以上の割合(子ども回答)】



- ・小学生の85%、中学生・高校生のほぼ全員がインターネットを利用しており、全年齢でインターネットが利用されている
- ・中学生では8割以上、高校生では、ほぼ全員が自分専用のスマートフォンを所持している
- ・小学生で約4割、中学生・高校生で6割以上の子どもが、平日にインターネットを2時間以上利用している

3 自撮り被害の状況

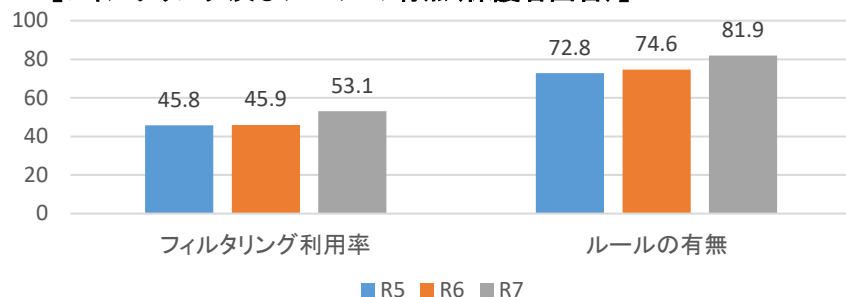
【裸や下着のやりとりの経験(子ども回答)】

	中学生		高校生		計	
	R6	R7	R6	R7	R6	R7
送ったことがある	0人	0人	6人	0人	6人	0人
写真を要求されたことはあるが送っていない	15人	12人	11人	19人	26人	31人

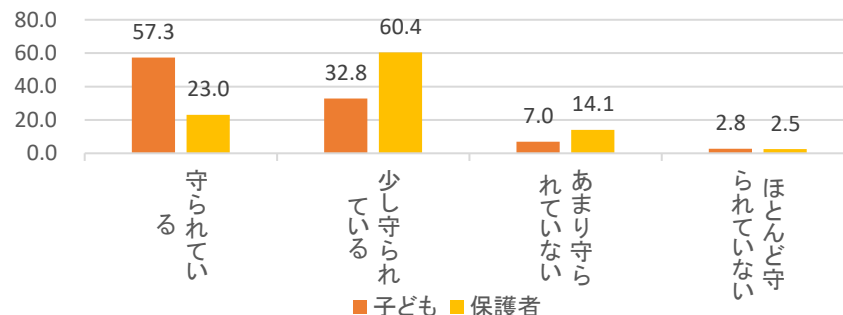
- ・裸や下着の画像を送ったことがあると答えた者は0人であった。(R6年度では高校生6人が「送ったことがあると回答」)
- ・「写真を要求されたことはあるが送っていない」と回答したのは、中学生12人、高校生19人(R6年度:中学生15人、高校生11人)であり、高校生が増加
- ・全体でも「要求されたこと」とあると答えたものが5人増加している

4 フィルタリングの利用状況及び家庭のルールの有無

【フィルタリング及びルールの有無(保護者回答)】



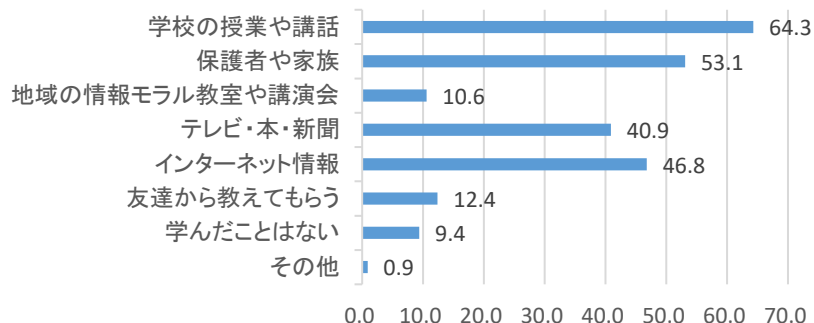
【ルールが守られているか(子ども・保護者の比較)】



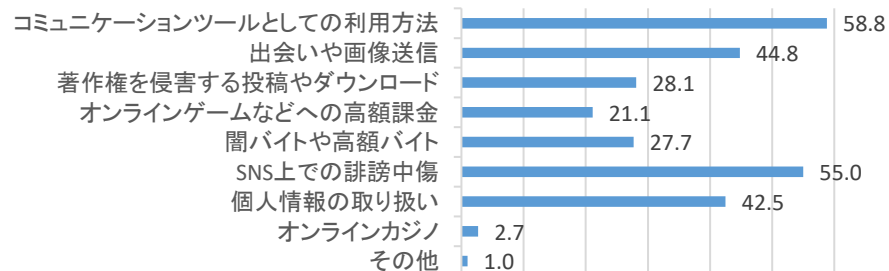
- ・フィルタリングの利用率・家庭のルールともに前年より増加している
- ・「ルールが守られているか」という質問に対して、子どもと保護者の認識の差が大きい

5 学習の機会と内容

【インターネット利用について学ぶ機会(子ども回答)】



【安全・安心利用のために学んで欲しいこと(保護者回答)】



- ・インターネットの安全・安心な利用について学習する機会は「学校の授業や講話」が一番多い
- ・テレビや本よりも、インターネット情報により安全・安心利用を学ぶ割合が高い
- ・保護者が望む学習の内容について、コミュニケーションに関連する選択肢の回答率が高い

6 お願い

- ・保護者の方は、子どもたちが有害情報に触れる機会をなくすため、**フィルタリングの利用や、子どもたちの成長や利用状況に応じたペアレンタルコントロールを**しましょう
- ・保護者と子どもたちが**話し合い**、「**家庭のルール**」をつくりましょう

大分県のHPIに、安全安心にスマホやネットを使うための情報を掲載しています

